

静岡県内勤労者の仕事と生活意識調査(第11回)

【1000人を超える静岡県内勤労者から回答】

●調査時期/2021年5月 ●回答者総数/1236名(男623名、女613名) ●調査方法/インターネット調査

静岡県内の勤労者約1000人を対象としたWEB調査。2016年5月の初回以来、年2回実施、2021年5月の今回は第11回調査となる。

性別

男性	女性
623	613
50.4%	49.6%

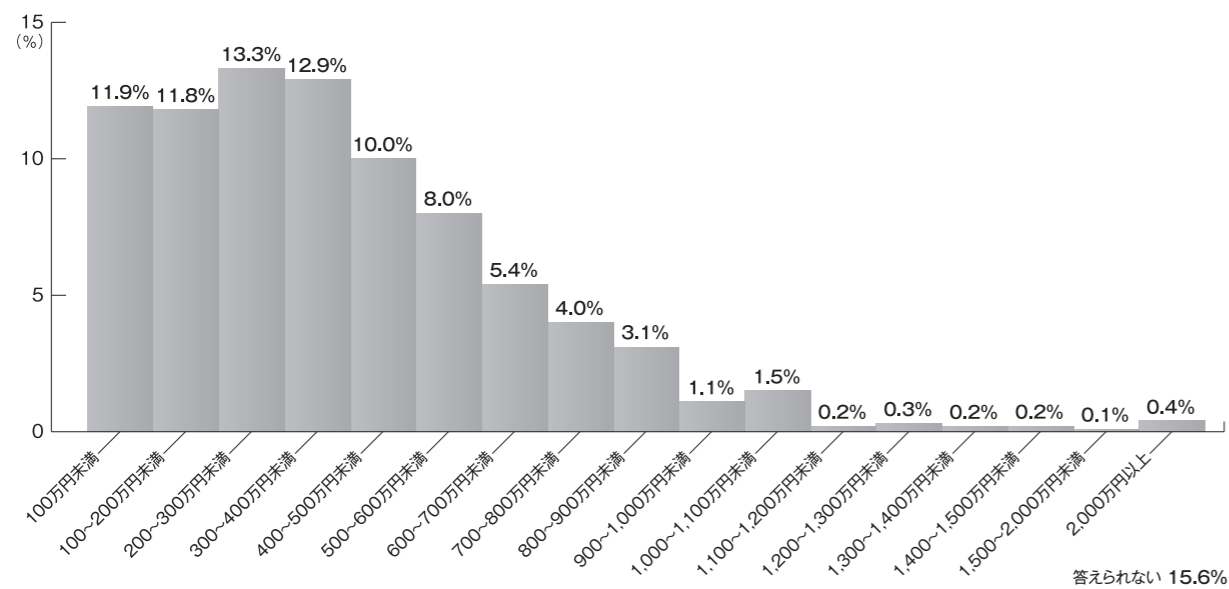
年齢

20歳~29歳	30歳~39歳	40歳~49歳	50歳~59歳	60歳以上
154	284	387	323	88
12.5%	23.0%	31.3%	26.1%	7.1%

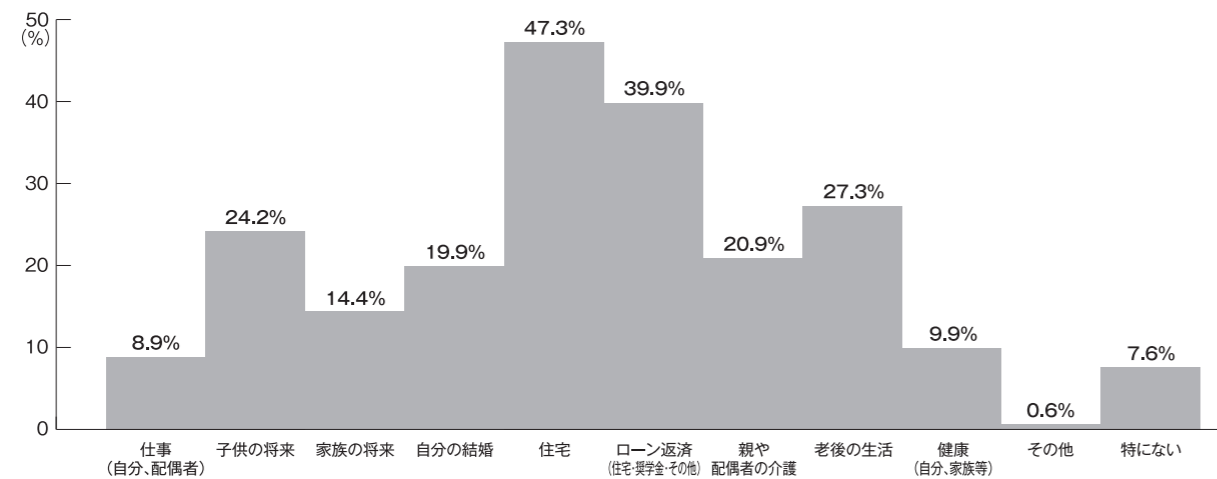
雇用形態

正規社員	非正規社員
792	444
64.1%	35.9%

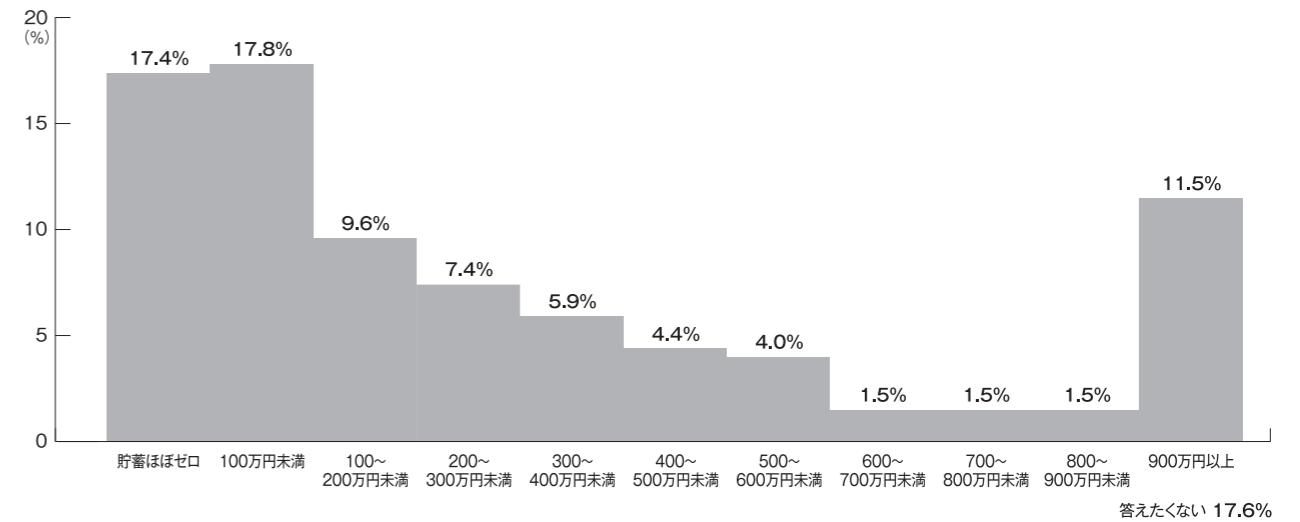
本人の年収



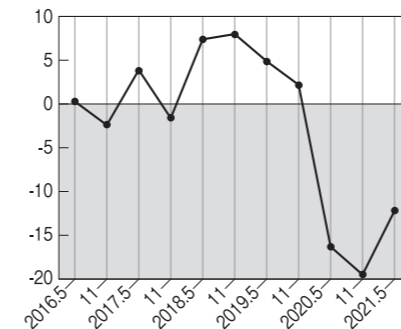
現在思う将来の不安



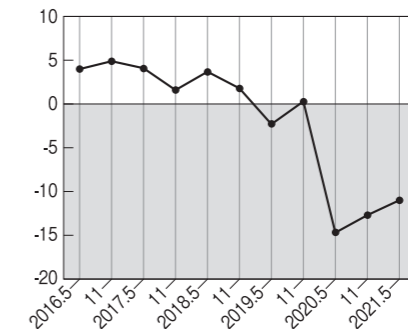
貯蓄額



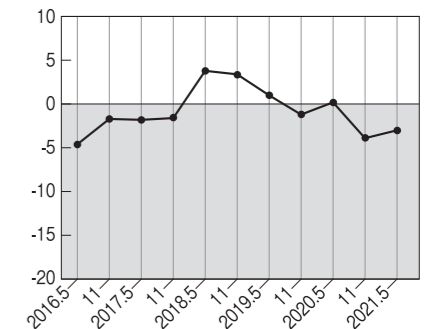
賃金収入



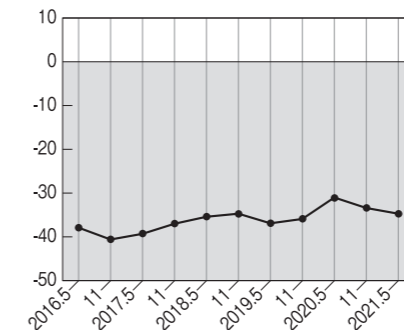
労働時間



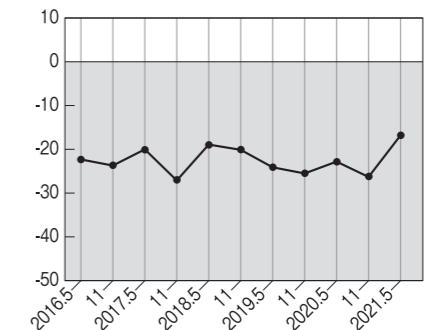
貯蓄額



暮らし(現在)



暮らし(1年後)



★今回調査の注目ポイント ~「賃金収入」「労働時間」のDI値「コロナ禍の底」から少しずつ回復!~

<貯蓄額>:「ほぼゼロ」が17.4%で前回(2020年11月)から5.1ポイント増加、「100万円未満」は17.8%で前回から3.3ポイント増加。少額の層で増加が目立つ。

<勤労者DI-Diffusion Index> 選択比率の差から動向を把握するための指標

- ※「賃金収入」「貯蓄額」: 1年前と比べて「増えた」・「変わらない」・「減った」
- 「労働時間」: 1年前と比べて「長くなった」・「変わらない」・「短くなった」
- 「暮らし」(現在): 「余裕がある」・「普通」・「厳しい」
- 「暮らし」(1年後): 「ゆとりがでる」・「変わらない」・「苦しくなる」・「わからない」

●「賃金収入」はコロナ禍初期の前々回(2020年5月)に大きく落ち込み、前はさらに落ち込んだが、今回は上昇。但し、依然コロナ禍前より低水準であり、今後の動向に注目

●「労働時間」もコロナ禍初期の前々回に大きく減少、前回、今回と少しずつ回復傾向にある。

●「暮らし(現在)」はコロナ禍初期の前々回はむしろ好転、その後は前回、今回と少しずつ悪化傾向である。